

作品はパブリックなもの

死蔵してはならない

杉本健吉

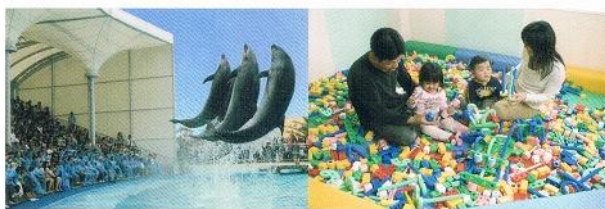


自画像(トム)

杉本健吉略歴 (1905~2004)

- 1905年(明治38年) 名古屋市に生まれる。
- 1925年(大正14年) 京都にて岸田劉生の門下生となる。
- 1927年(昭和2年) 主に鉄道関係の観光ポスターを作る。
- 1937年(昭和12年) 国画奨学賞を受ける(宇奈月雪浪)。
- 1940年(昭和15年) このころから大和の風物に魅せられ、奈良通いを始める。
- 1946年(昭和21年) 国展に奈良素描多数出品。  
第2回日展特選(「博物館影刺草」)。
- 1948年(昭和23年) 第1回中日文化賞(奈良風景を題材とした「タブローとしての素描」)。
- 1949年(昭和24年) 東大寺観音院上司梅雲師の知遇を受け、観音院の古土蔵をアトリエにしたり、そこで奈良制作を始める。
- 1950年(昭和25年) 巡回朝日の吉川英治作「新・平家物語」挿絵担当。
- 1962年(昭和37年) 初めて海外スケッチにでる。ヨーロッパへ、以後毎年海外スケッチ旅行に出掛ける。
- 1983年(昭和58年) 大坂・四天王寺「聖徳太子絵伝」完成。
- 1987年(昭和62年) 中日新聞本社主催「杉本健吉波瀾展」を3月、名古屋・名鉄百貨店で開催。  
名古屋鉄道(株)により「杉本美術館」を4月、知多美浜緑苑内に開館。
- 1989年(平成元年) 世界デザイン博に陶器「迦陵頻伽」を制作する。
- 2004年(平成16年) 2月10日肺炎のため死去。

周辺のご案内



南知多ビーチランド & 南知多おもちゃ王国

南知多ビーチランドは、ダイナミックなイルカショーや、アザラシ・イルカに直接タッチしたり、ペンギンにえさをあげる事ができる海の生き物と日本で一番ふれあえる水族園です。  
南知多おもちゃ王国では、おもちゃを介して人と人のふれあいを大切に、いろいろなおもちゃを使って遊ぶ「体験がびりオン」や観覧車やコースターなどの「アトラクション」で遊べます。

※南知多おもちゃ王国は、南知多ビーチランドの入園料で入園できます。



えびせんべいの里

知多半島の観光スポット。約50種類のせんべいを試食・販売する製造直売店。ガラス越しに製造工程の見学もできます。



ジョイフルファーム鵜の池

自然とふれあいを通じて、新鮮な野菜や果物を取ったり、育てる喜びを実感できる観光農園です。季節に応じて、いちご狩りやみかん狩り、いも掘りなどが楽しめます。

利用のご案内

閉館時間 午前9時30分から  
午後4時30分まで  
(但し、入館は午後1時まで)

休館日 毎週水曜日  
(但し、祝日の場合は翌日休館)  
毎月第2火曜日  
年末年始  
(詳細はお問い合わせ下さい)

入館料 個人 団体  
大人 900円 700円  
高校生 400円 300円  
中学生 300円 200円  
(※団体は15名以上(料金は税込))

交通 名鉄電車で/知多新線  
美浜緑苑駅から徒歩7分  
お車で/南知多道路  
美浜ICから3km  
中部国際空港から車で約30分



杉本美術館

〒470-3232 愛知県知多郡美浜町美浜緑苑一丁目12番1号  
TEL (0569) 88-5171 / FAX (0569) 88-5591  
<http://www.meitetsu.co.jp/files/sugimoto/>

杉本健吉のこころ

杉本美術館



SUGIMOTO ART MUSEUM

## 杉本美術館について

杉本美術館は、わが国を代表する洋画家の一人で、挿絵やデザインの分野でも活躍された名古屋生まれの故 杉本健吉画伯から、ご自身の作品の寄贈を受け設立された公益財団法人です。当館は画伯の生涯にわたる芸術作品など9,700点あまりを収蔵しています。杉本画伯は、芸術作品は“パブリック”なもので個人の収集家によって死蔵されてはいけない、公的な場で広く一般の人々に見てもらいたい、という信念から、この美術館へ作品を託されたのです。当館はこの信念のもとに、昭和62年(1987年)4月に開館しました。また平成6年(1994年)4月には三つの展示場からなる新館もオープンし、さらに内容を充実しております。

杉本美術館で、一人でも多くの方に得心ゆくまで杉本芸術をご鑑賞いただけますよう皆様のお越しをお待ちいたしております。

公益財団法人 杉本美術館



牡丹図 1987



アッシジ眺望 1980

展示室1では、洋画を中心にさまざまな分野の絵画を展示し、季節の折に展示内容を変更しています。

杉本健吉がデザインした作品



パノラマカー カラーリング

名鉄百貨店

名鉄百貨店ロゴ



名鉄タクシー カラーリング



名古屋市交通局ロゴイメージ



青柳総本家ロゴ

展示室2では画伯の経歴とともに、自画像とデザインの代表作品が常時展示されています。愛知県には杉本健吉画伯の足あとが散りばめられています。



金剛界曼陀羅 1992



胎藏界曼陀羅 1992

展示室3は縦2.9m×横1.8mの大きな2つの曼陀羅を展示する特別室です。



絵画ばかりでなく、陶芸や木工などの作品も杉本画伯には多く、展示室4ではユーモアたっぷりの作品が楽しめます。



阿修羅像 1960

展示室5「企画展示室」では「墨絵」などのテーマを設定して各分野の作品を順次展示しています。



新・平家物語「あわれ月夜かな」1986

展示室6では昭和25年から7年間連載された吉川英治の歴史小説「新・平家物語」の挿絵や、大阪四天王寺絵堂に描いた聖徳太子絵伝の画稿を展示する他、企画展にも使用します。



レクチャールーム・和室「杉庵」

和室「杉庵」では軸装作品などの展示のほか、茶道具一式を揃えた本格的な茶室としても活用でき、伊勢湾を望むレクチャールームではご希望の方に呈茶もいたしております。

## 館内のご案内

この杉本美術館は本館と新館からなっています。本館は、和室「杉庵」や廊下、中庭などのスペースも利用して調和のとれた展示を構成しています。また、新館は三室からなり、中央の展示室は「阿耨曼陀羅」「空海像」を展示する特別設計です。

鉄筋コンクリート造2階建  
敷地面積  
3,423.66m<sup>2</sup>  
建築面積  
1,279.61m<sup>2</sup>

